

毎月第2火曜日は 製品安全点検日

製品事故から身を守るために

漏電・発火や**一酸化炭素中毒**など、
不幸な事故が起きています。
私たちの家に、あぶない製品はないでしょうか。
毎月第2火曜日は製品安全点検日です
電気用品、ガス用品をチェックしましょう。

電気用品

プラグ、コード

見る **ホコリ**がつもっている 取り除く
重い物の下敷きになっている 物をどける
束ねてある 伸ばす
変色、変形、深い傷 使用中止

テレビ、洗濯機、冷蔵庫、エアコン等
臭いをかく **焦げ臭い** 使用中止

扇風機、エアコン、照明等

耳をすます **異常音** 発熱の恐れ 使用中止

電子レンジ、オーブン、ヘアードライヤー等

通気口、吸気口がふさがっている 異常発熱の恐れ
空気が十分通るようにする

全般

手をかざす(触れると感電の危険あり) **熱い** 使用中止
水がかかる可能性を考える(**水分があると漏電の危険増大**)
取扱説明書の確認

放って
おくと

ホコリが
湿気を
吸って…

漏電!



ガス用品

屋内の空気を使ってガスを燃やしファンで屋外に排気する湯沸器は



- 1.コンセントが入っていること
- 2.給湯中、ファンが回る音がすること
- 3.排気筒が外れたり穴が空いたり詰まったり
出口の金網が外れたりしていないことを確認

パロマ工業のこの型の瞬間湯沸器では、機器の改造に加え、コンセントが抜けて安全装置が作動せず、一酸化炭素中毒事故が起こりました。

小型湯沸器を使う時は、**換気扇を回す等して換気する**必要があります。
長時間の使用はできません。小型湯沸器にホースをつなぎ風呂やシャワーなどに
使って、一酸化炭素中毒事故が起きたことがあります。

十分に換気しないで小型湯沸器、ガストーブ、ガスコンロなどを使うと、
一酸化炭素中毒になり、死亡したり脳に後遺症が残る危険があります。

ただし、屋内に設置された煙突式ふろがまでお風呂をわかしている時に隣の台所で換気扇を回すと、ふろがまの排気が逆流して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

一酸化炭素は無色無臭で、頭痛や吐き気で異変に気づいた時には手足がしびれて動けない場合もあります。

一酸化炭素ガス警報器(CO警報器)を設置すれば、不完全燃焼を早期に知らせてくれます。
不完全燃焼防止装置付きの湯沸器や屋外設置式の湯沸器も販売されています。

